



小坂井地域交流会館（仮称） 基本設計に関する住民説明会

ニュース

住民説明会 平成 30 年 5 月 25 日（金）18:00～ 小坂井生涯学習会館 参加者16名でした！

本市では、小坂井地区における公共施設再編整備に取り組んでいます。平成30年2月に基本設計を完了し、住民説明会では、その内容についてご説明いたしました。当日の内容については、以下のとおりです。



住民説明会の様子

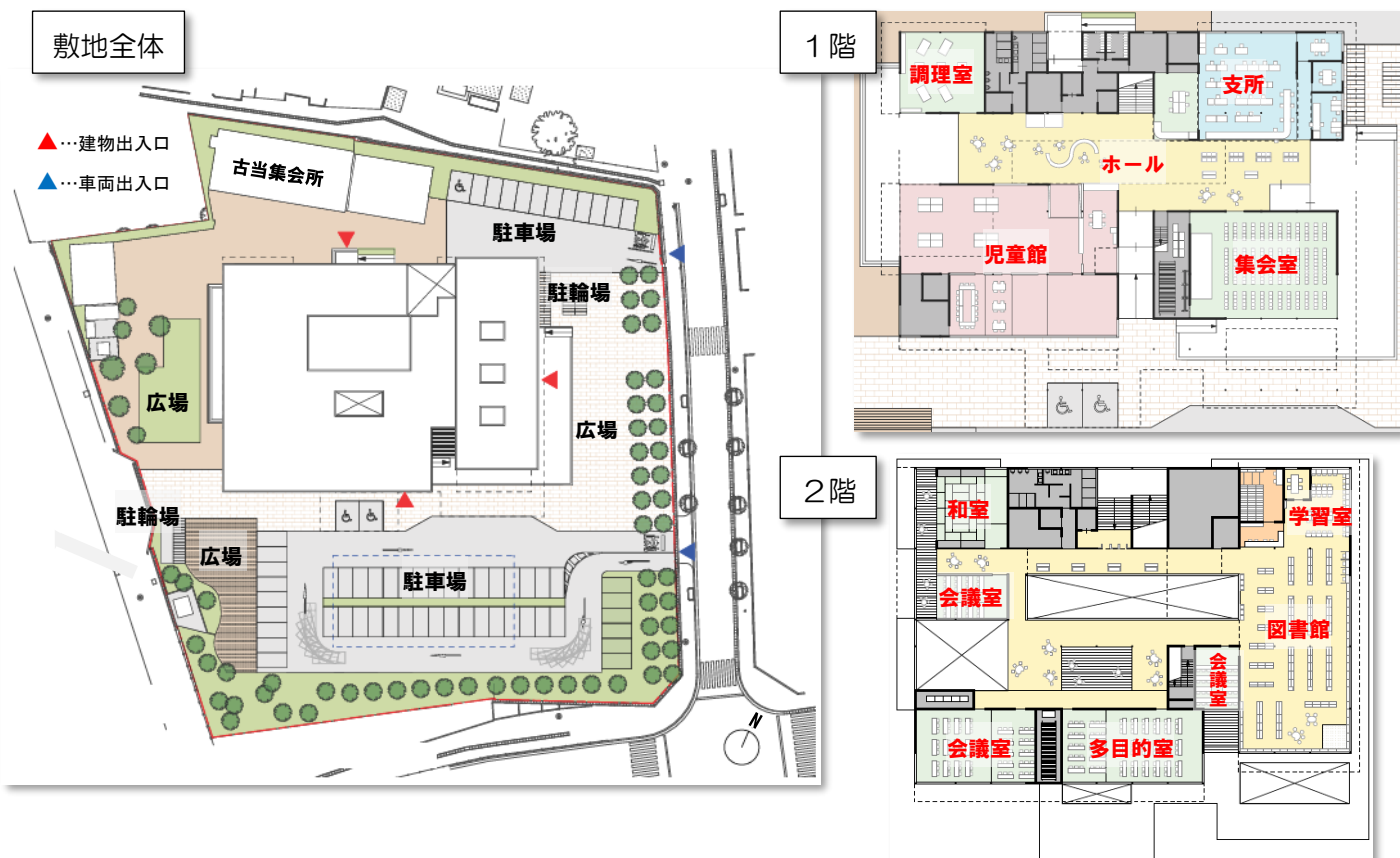


建物の外観イメージ(基本設計時)

基本設計の主な内容

《基本設計における配置パターン》

◎敷地の中央に再編施設を配置。1階には、支所、児童館。2階には、図書館、生涯学習・コミュニティの貸室を配置します。



質疑応答のまとめ（図書館・施設計画）

	質問	回答
機能 図書館	◆図書館内の学習スペースは何席か。	●基本設計では、40席を想定。
計画 施設	◆車イスの方に配慮された計画となっているか。	●人にやさしいまちづくり条例、差別解消法等を遵守し、車イスの方にも配慮して計画している。
	◆空調方式は何を採用するか。	●セントラル、個別空調を併用。

質疑応答のまとめ（その他）

	質問	回答
利 土 用 地	◆新施設完成後、生涯学習会館と児童館側の土地の活用はどうか。	●旧施設の解体後は、当面駐車場として利用予定。
防 災	◆小坂井地区の防災センターはどこに作るのか。	●地域拠点として防災センターは設けない。
	◆公共施設は災害時の避難所として利用されるため不足しないか心配。	●避難所は、現在の生涯学習会館、児童館と同程度確保。
そ の 他 の 機 能	◆文化施設を壊さないでほしい。	●合併による重複機能であり、維持管理のコストも多くかかる。新文化施設整備後、順次閉鎖を予定。
	◆フロイデンホールは、活動している人のために壊さないで欲しい。	●新施設のロビーや集会室では音楽活動が出来る仕様として計画しているため、文化施設の機能の一部は補完できる。
そ の 他	◆住民説明会、ワークショップ等より市民意見を取り入れた主なものは。	●1階は、ホールにより広がりを持たせた。2階は、図書館の面積を広げた。共用部では図書（貸出前）の閲覧スペースとして利用可能とし、図書を会議室等の貸室でも利用可能とした。
	◆町史編纂の資料は新施設へ収容しないのか。	●資料の保管場所については検討中。新施設内で展示ケースを設け、小坂井町の資料を展示していく予定。



ひとことアンケート



- 住民への配慮を如何に重視しているかがよくわかった。
- 太鼓の練習の際、音や響きは大丈夫か心配です。
- 職員が市民の立場に立って気持ち良く利用できるようお願いしたい。リーディング事業としてお手本となるよう希望します。
- 図書室内の学習スペースを広くとり子供たちが学習できるようにして欲しい。
- 防災センター機能を持つ設備を小坂井のどこに作るのか、町史編さんの時に集めたであろう資料を保存する場所をどこに作るのか気がかりである。
- 今回の計画頑張って実現して頂ける事を楽しみにしています。



<問い合わせ先>

豊川市総務部財産管理課

電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/kanzaikeiyakuka2015.html>

- 本取組みに関することはホームページ、ニュース等を通じて公開しており、基本設計の内容についても掲載していますので、是非ご覧ください。
- ご意見、ご要望については、メール、窓口等の他に、小坂井支所及び小坂井生涯学習会館に意見箱を設置し、随時受け付けています。

【意見箱】

